

# 富山新聞

富山新聞社

〒930-8570 富山市大平町5番1号

番号案内(076)494-8111

金沢本社 番号案内(076)263-2111

〒920-8588 金沢市善福寺町2丁目5番1号

©北越新聞社 2002年

# 新産業 韓国に学べ

## 県新世紀機構が派遣団

## 11月のアジア国際会議に参加

## IT分野で出展へ

富山県新世紀産業機構は今年十一月、韓国・大邱広域市で開催される第六回アジア・サイエンスパーク会議に、県内企業関係者も加えた十数人規模のミッションを派遣する。IT、バイオ関連分野の発展や商談などを予定しており、起業化や商品開発の方策を学ぶための若手研究者の交流や企業間の提携に結び付けたい考えである。



富山県新世紀産業機構と大邱テクノパークとの交流協定書を交わす中沖知事(右)と大邱市長(左)。

### 大邱との提携契機に

県内から同会議への参加者によると、大邱は初めてで、県新世紀テクノパークでは大学の産業機構と韓国・大邱テクノパークが昨年十一月、チャーター企業が成果を挙げた交流協定を締結して以降、第一号の大型事業となる。

会議はアジア・サイエンスパーク協会の主催で、大邱展示会議センターで開催される。約四十の国と地域から約二百人が参加し、ベンチャー企業による展示が約百ブース設けられる予定になっている。

も民間から韓国のITベンチャー企業との交流を深める動きも起り始めている。

インターネット関連事業のシーアール(高岡市)は今年四月、韓国のソフト開発会社「IDCテック」(ソウル)と業務提携に調印した。シーアールの松原吉隆社長が会長を務める富山ITベンチャー協議会は今秋にも、異業種情報センターと共催で韓国ITベンチャーセンター(東京)の入居企業を富山に招き、県内企業とのビジネス交流会を開く。

県新世紀産業機構も今年十月十日から十二日まで大邱で開催された第二回韓国ベンチャー産業展に参加し、富山の産業をPRした。IT関連産業の低迷が指摘され、富山県側は民間からの公募事業や制度融資などの支援制度を設けている。しかし一方で「新事業や新商品開発のノウハウは韓国などから学ぶ余地も多い」(県商工企画課)との指摘もあり、十一月の会議参加は県内の産業活性化に重要な意味を持つと期待されている。